

緑被地の現況と推移①（深大寺北町二丁目・深大寺元町五丁目周辺）

都立神代植物公園内の新規植栽や生長による樹木の増加もみられるが、一部で改変され消失している場所もみられる。

昭和 62 年（7 月撮影）



平成 16 年（7 月撮影）



平成 5 年（8 月撮影）



平成 27 年（7 月撮影）



緑被地の現状と推移②（調布ヶ丘一丁目・二丁目周辺）

土地利用の改変がみられ、屋敷林などのまとまった緑地が減少している。

昭和62年（7月撮影）



平成16年（7月撮影）



平成5年（8月撮影）



平成27年（7月撮影）



緑被地の現況と推移③（若葉町一丁目・三丁目周辺）

国分寺崖線において、一部開発により樹木が消失しているところがあるが、樹木の生長もみられる。

昭和 62 年（7 月撮影）



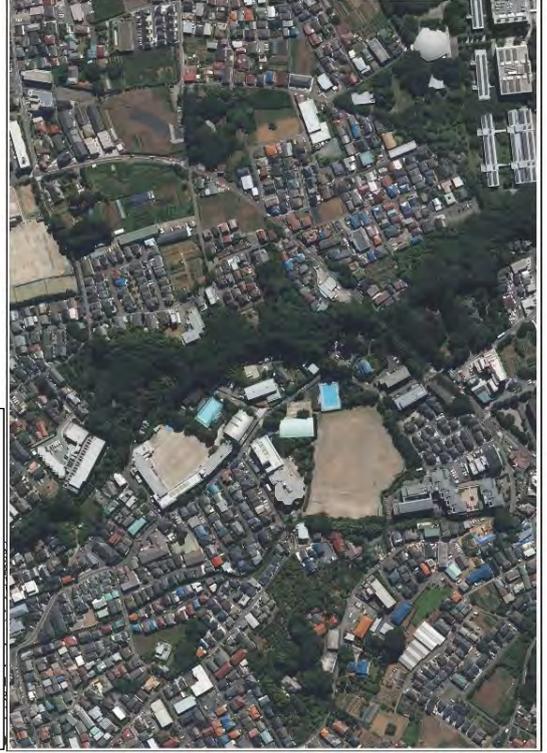
平成 16 年（7 月撮影）



平成 5 年（8 月撮影）



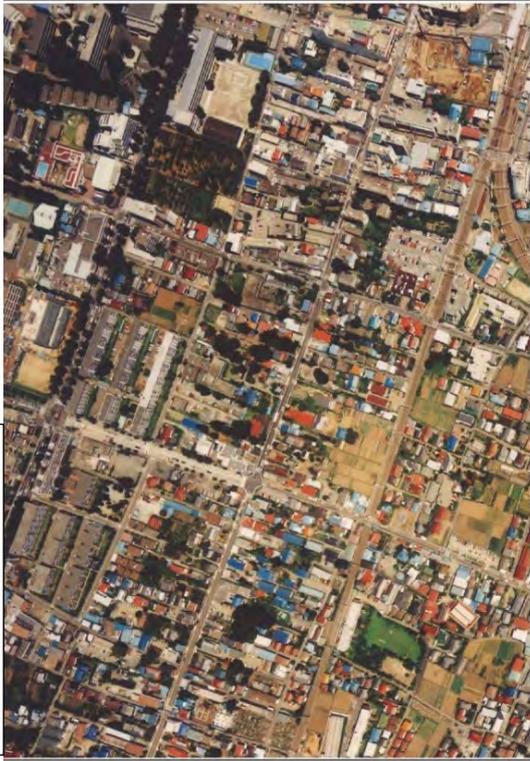
平成 27 年（7 月撮影）



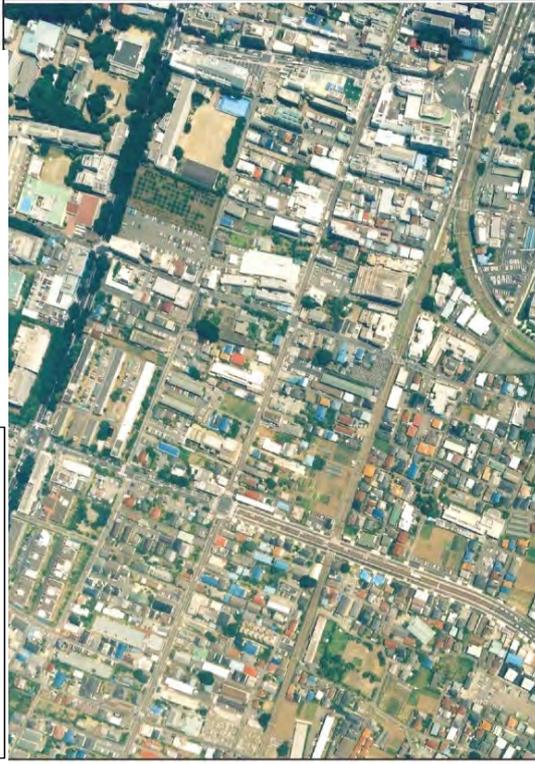
#### 緑被地の現況と推移④（小島町一丁目周辺）

土地利用の変化や建て替えによって緑が減少しているが、一般住宅や街路樹の樹木で一部増加しているところもみられる。

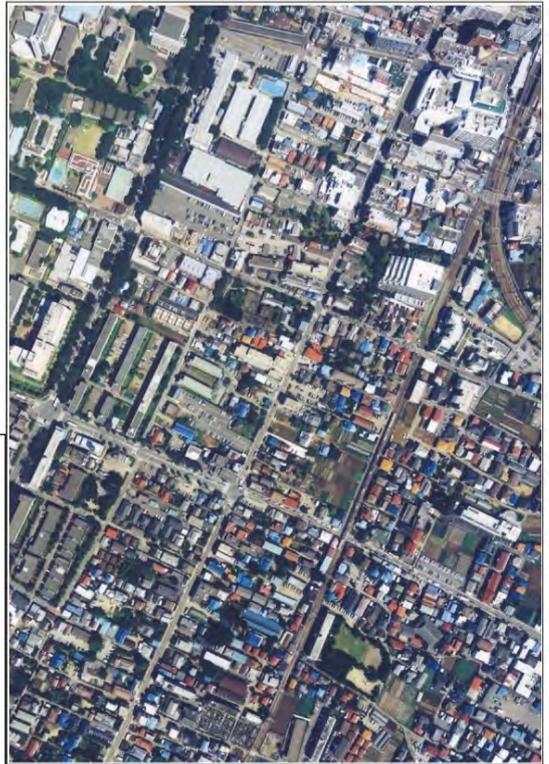
昭和 62 年（7 月撮影）



平成 16 年（7 月撮影）



平成 5 年（8 月撮影）



平成 27 年（7 月撮影）



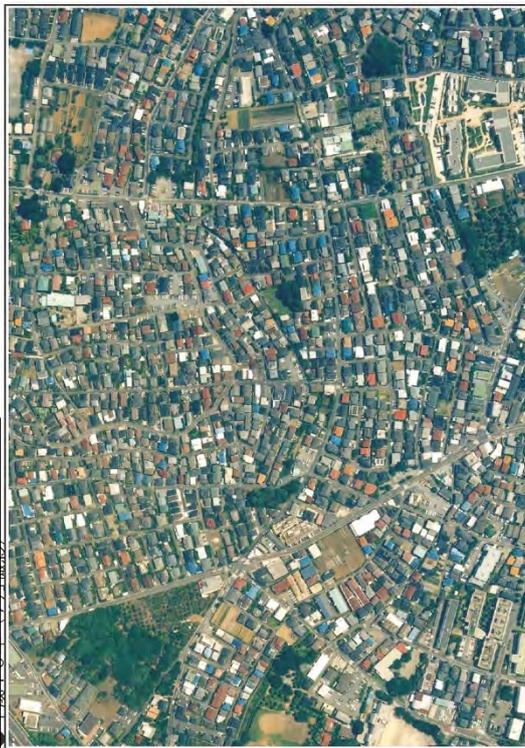
緑被地の現況と推移⑤（西つじヶ丘一丁目周辺）

裸地、草地、農地の宅地化が進んでいるが、樹木の生長がみられるところもある。

昭和62年（7月撮影）



平成16年（7月撮影）



平成5年（8月撮影）



平成27年（7月撮影）



## (2) 地域別緑被率の変遷

地域別の緑被率の変化状況は、図 3-10 (1) ~ (4) に示すとおりである。

### ① 東部地域

昭和 62 から平成 16 年まではほぼ同じ緑被率であったものの、平成 16 年から平成 27 年にかけて緑被率は減少傾向にある。平成 16 年と比較すると、主に住宅・事務所等の植栽，社寺林などが増加し，屋敷林，山林・平地林，果樹園・苗圃等・田畑の農地などが減少している。

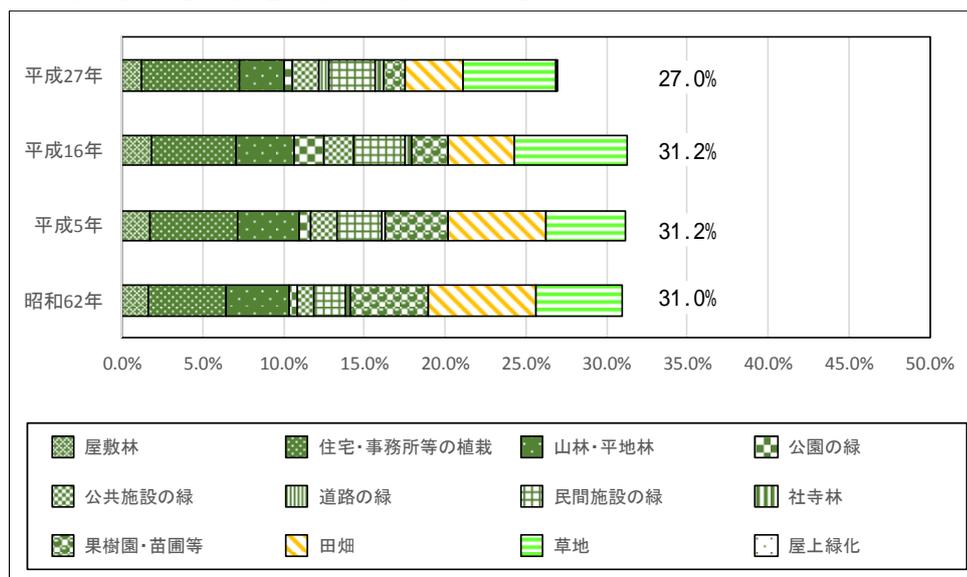


図 3-10 (1) 地域別緑被地等の変化状況 (東部地域)

### ② 北部地域

昭和 62 年から平成 5 年にはやや増加したものの、平成 5 年以降，緑被率は減少傾向にある。平成 16 年と比較すると，主に住宅・事務所等の植栽，公園の緑などが増加し，屋敷林，山林・平地林，民間施設の緑，果樹園・苗圃等及び田畑の農地などが減少している。

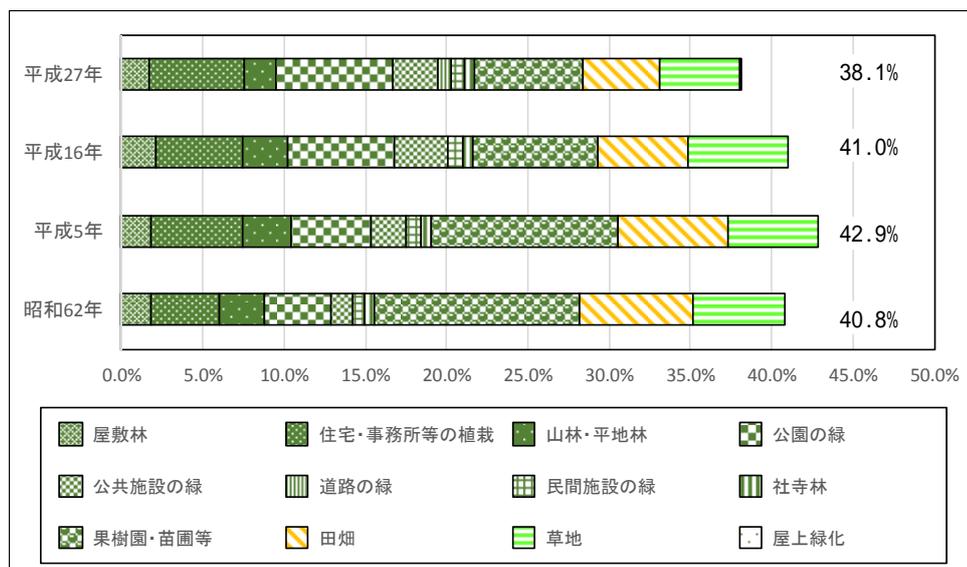


図 3-10 (2) 地域別緑被地等の変化状況 (北部地域)

③ 南部地域

北部地域と同様に、昭和62年から平成5年にはやや増加したものの、平成5年以降、緑被率は減少傾向にある。平成16年と比較すると、主に住宅・事務所等の植栽、民間施設の緑などが増加し、屋敷林、公園の緑、果樹園・苗圃等及び田畑の農地などが減少している。

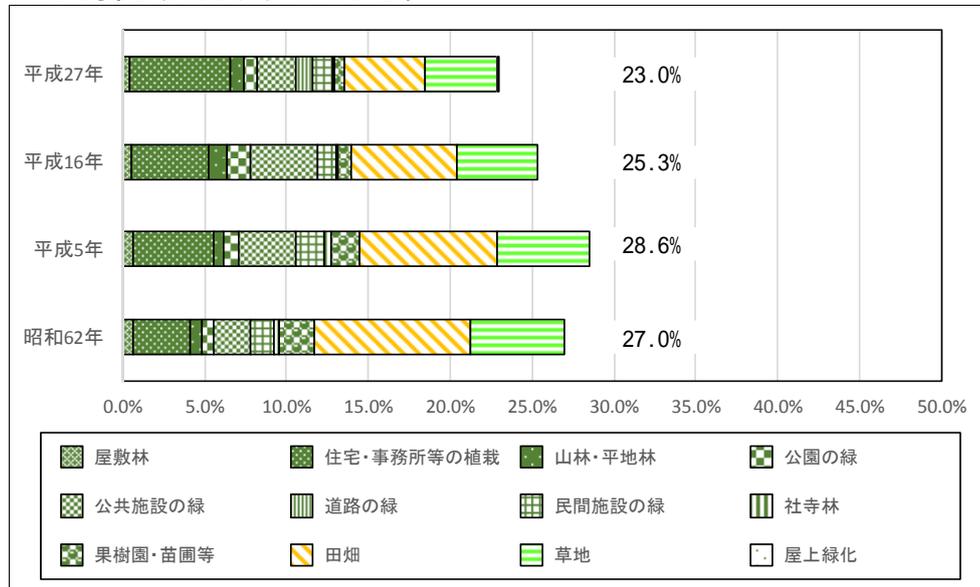


図 3-10 (3) 地域別緑被地等の変化状況 (南部地域)

④ 西部地域

昭和62年から平成5年には微増しているが、平成16年に緑被率は大幅に減少している。この大幅な減少は、平成16年から平成27年にかけてほぼ同じ緑被率となっており、大幅な減少はみられなかった。平成16年と比較すると、主に住宅・事務所等の植栽、公園の緑と民間施設の緑が増加し、山林・平地林、果樹園・苗圃等、田畑の農地及び草草が減少している。

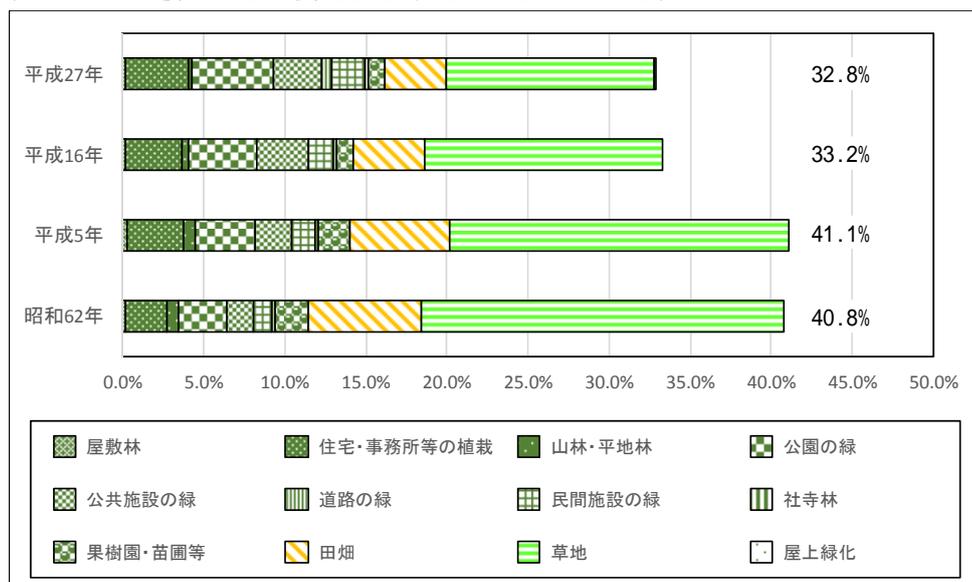


図 3-10 (4) 地域別緑被地等の変化状況 (西部地域)

### (3) 丁目別緑被率等の変遷

丁目別にみた緑被率の変化状況を図 3-11 と図 3-12 に示した。図 3-11 は、平成 16 年（前回調査による）から平成 27 年にかけての緑被率の変化状況であり、図 3-12 は、平成 5 年から平成 16 年（前回調査）にかけての緑被率の変化状況である。

平成 5 年から平成 16 年にかけて緑被率は、71 の町で減少している。平成 16 年から平成 27 年にかけて緑被率が減少した町は 76 の町であり、より多くの町で緑被率の低下がみられる。

また、緑被率が 5%以上の減少から増加に大きく転換したのは、富士見町 1 丁目、飛田給 2 丁目及び 3 丁目、下石原 1 丁目及び 3 丁目、多摩川 4 丁目及び 7 丁目、小島町 2 丁目、調布ヶ丘 1 丁目、深大寺元町 4 丁目、深大寺北町 3 丁目及び 4 丁目、深大寺東町 6 丁目と、調布市の西側に集中している。これに対して、調布市の東側では、平成 16 年から平成 27 年にかけて減少に転じた町が多い。

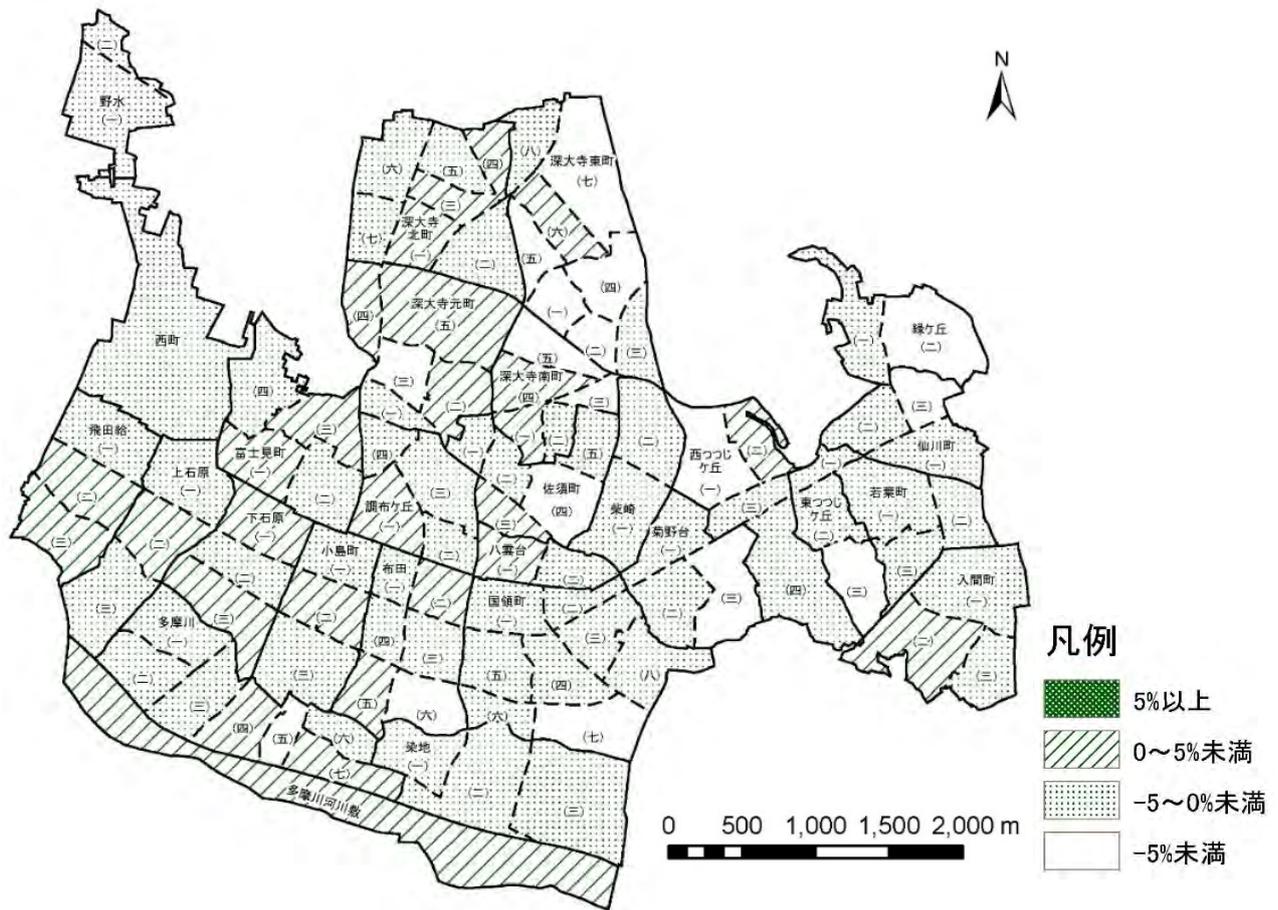


図 3-11 丁目別緑被率の変遷 (前回調査：平成 16 年以降)

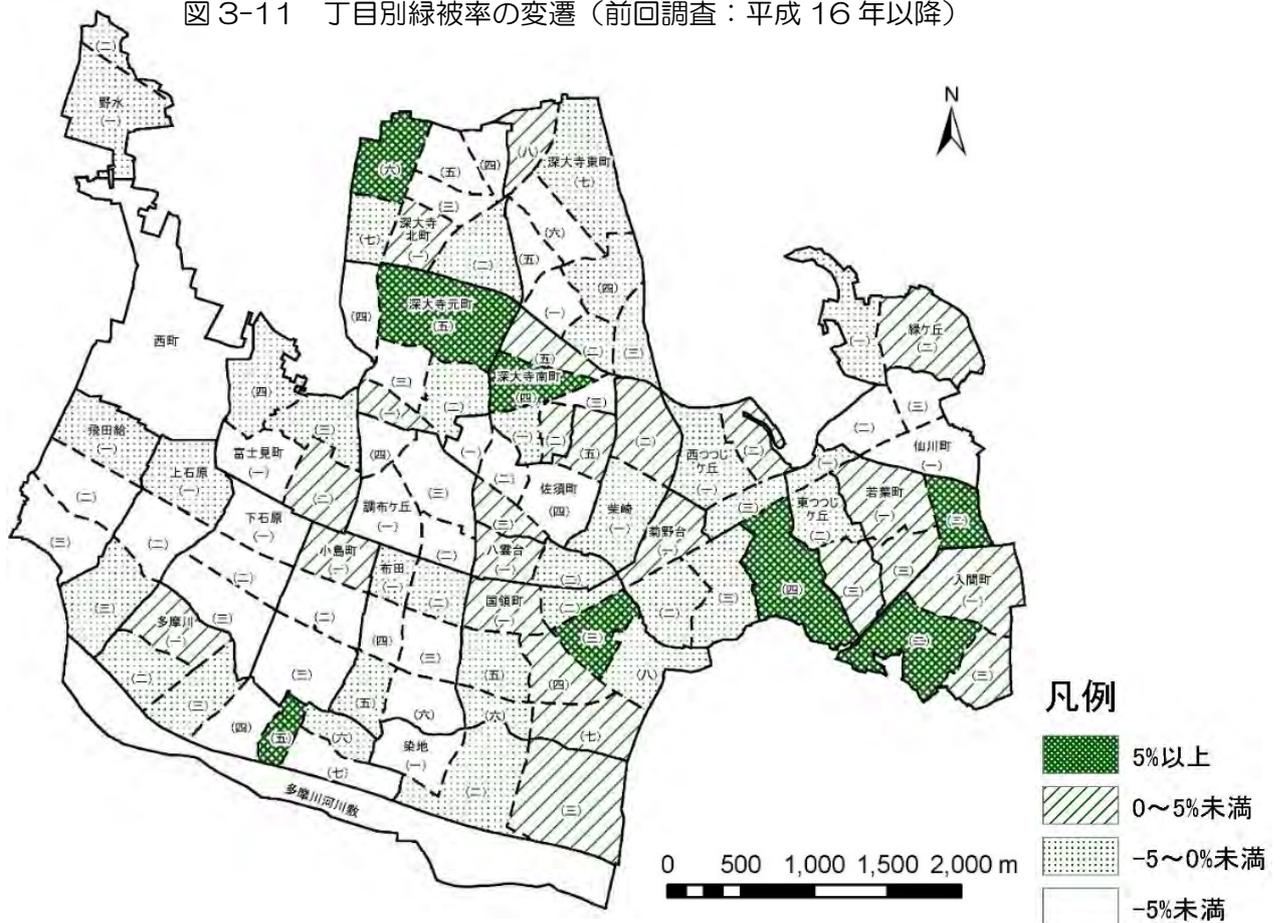


図 3-12 丁目別緑被率の変遷 (平成 5 年～平成 16 年)

### 3-4 緑地の変遷

#### (1) 公園緑地など

市内の公園緑地などの増減をみると、平成16年の284箇所、117.9haから平成27年には310箇所、143.9haと顕著に増加している。特に、都市公園が平成16年の163箇所、98.0haから平成27年の199箇所、123.2haへ、36箇所、25.2haと顕著に増加している。これは仲よし広場が街区公園に移行したことや、運動公園では平成22年から、市街化区域\*内に多摩川緑地公園の1箇所、市街化調整区域\*に多摩川児童公園の1箇所の計2箇所、9.8haが増加したなどの理由による。そのほかの緑地については、緑地が2箇所、1.4ha、崖線が6箇所、0.5ha減少している。

表3-7 公園緑地などの整備状況

種 別				平成16年4月1日						平成27年4月1日					
				市街化区域		市街化調整区域		都市計画区域		市街化区域		市街化調整区域		都市計画区域	
				箇所	面積 (ha)	箇所	面積 (ha)	箇所	面積 (ha)	箇所	面積 (ha)	箇所	面積 (ha)	箇所	面積 (ha)
都市公園	基幹公園	住区 基幹 公園	街区公園	156	15.1	2	9.2	158	24.3	189	14.5	0	0.0	189	14.5
			近隣公園	1	1.2	0	0.0	1	1.2	1	1.2	1	2.1	2	3.3
			地区公園	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
			計	157	16.3	2	9.2	159	25.5	190	15.7	1	2.1	191	17.8
	都市 基幹 公園	総合公園	1	0.5	0	0.0	1	0.5	1	0.5	0	0.0	1	0.5	
		運動公園	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	2.7	1	7.1	2	9.7	
		計	1	0.5	0	0.0	1	0.5	2	3.2	1	7.1	3	10.2	
		計	158	16.8	2	9.2	160	26.0	192	18.9	2	9.2	194	28.0	
		特殊公園	1	0.5	0	0.0	1	0.5	3	49.5	0	0.0	3	49.5	
		広域公園	2	71.5	0	0.0	2	71.5	2	45.7	0	0.0	2	45.7	
	計	161	88.8	2	9.2	163	98.0	197	114.1	2	9.2	199	123.2		
都市公園 以外の 公遊園	仲よし広場		38	6.7	0	0.0	38	6.7	24	5.9	0	0.0	24	5.9	
	ポケットパーク		0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	
	計		38	6.7	0	0.0	38	6.7	24	5.9	0	0.0	24	5.9	
都市公園・公遊園計			199	95.5	2	9.2	201	104.7	221	120.0	2	9.2	223	129.1	
その他の 緑地	緑地		50	2.3	1	4.0	51	6.3	48	2.1	1	5.6	49	7.7	
	緑道		18	2.4	0	0.0	18	2.4	18	2.4	0	0.0	18	2.4	
	崖線		13	4.1	0	0.0	13	4.1	19	4.6	0	0.0	19	4.6	
	苗圃		1	0.4	0	0.0	1	0.4	1	0.0	0	0.0	1	0.0	
	計		82	9.2	1	4.0	83	13.2	86	9.1	1	5.6	87	14.7	
総計			281	104.7	3	13.2	284	117.9	307	129.1	3	14.8	310	143.9	

\*参考資料に語句説明あり。

## (2) 地域制緑地

市内の地域制緑地の増減をみると、平成16年の285.0haから平成27年には255.8haと29.2haが減少しており、特に生産緑地の減少が顕著となっている。

表 3-8 地域制緑地の変遷

区 分	面 積(ha)		
	平成16年4月1日	平成27年4月1日	
地域制緑地	保安林	3.1	3.1
	生産緑地	152.3	125.7
	東京都の保全地域	1.1	0.9
	保全地区	3.8	4.6
	河川区域	125.0	121.9
	地域制緑地内の重複	-0.3	-0.4
	合計	285.0	255.8